

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法 科目コード：130038 公衆衛生看護方法論Ⅱ Community Health Nursing Ⅱ					
担当教員	曾根 志穂、塚田 久恵、阿部 智恵子、金子 紀子				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	地域看護、公衆衛生看護、地域看護技術、保健指導、家庭訪問、健康教育、地域組織、地域ケアシステム				
学習目的・目標	【目的】 公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭・地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を理解し、援助提供の場に 応じた看護職の役割・機能を学習する。 【目標】 1.保健指導の目的と、その相談的対応の技術と教育的対応の技術を理解する。 2.家庭訪問援助の目的、方法を理解する。 3.健康教育の目的、方法を理解する。 4.住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を理解する。 5.地域組織活動および地域ケアシステムの構築の目的と技術を理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	保健指導の基本 1.公衆衛生看護における対象の理解 2.保健指導において活用できる理論				
2	保健指導の展開（1） 1.保健指導のおもな技術 2.健康相談、健康診査の展開				
3-4	保健指導の展開（2） 1.家庭訪問による援助の目的、特徴とその機能 2.家庭訪問による援助の展開過程と実際				
5-6	健康教育の展開 1.健康教育の目的と技術 2.健康教育の展開過程と実際				
7	地域組織活動の理論と実際 1.地域組織活動の概念・理論と組織づくりの方法 2.セルフヘルプ・グループや住民組織活動とその支援				
8	地域ケアシステム構築の理論と実際 1.地域ケアシステムを必要とする健康問題 2.地域ケアシステムの目的と意義 3.地域ケアシステム構築のための理論と手法				
教科書	標美奈子著者代表：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論，医学書院 中村裕美子著者代表：標準保健師講座・2 公衆衛生看護技術，医学書院 松田正己著者代表：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動，医学書院				
参考図書等	村嶋幸代編：最新保健学講座第2巻公衆衛生看護支援技術（メヂカルフレンド社） 宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学総論（日本看護協会出版会）。				
評価指標	定期試験 70％、ワークシート・課題レポート 20％、出席および参加状況 10％ ①保健師による保健指導の目的、対象を理解し、必要な対人援助技術を考察できる。 ②家庭訪問及び健康教育の目的と特徴、必要な基本的技術が理解できる。 ③地域組織活動と地域ケアシステムの必要性とそれに関わる保健師の機能と役割が理解できる。				
関連科目	地域看護学概論、公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅲ、公衆衛生看護方法論Ⅱ演習・Ⅲ演習、公衆衛生看護学実習、コミュニ ティ政策論、公衆衛生学、疫学、保健統計学、保健医療福祉論、家族看護論				
教員から学生への メッセージ	講義において得た知識や技術を基本にして、広い視野と自由で柔軟な発想を活かして、地域の人々の生活を考え、人 々の健康のために看護の専門職として何をしたらよいか考えて勉強に励んでほしい。ここで学ぶ内容は公衆衛生看護 方法論Ⅱ演習および公衆衛生看護方法論Ⅲの基礎となり、公衆衛生看護学実習で体験することになります。				